

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

# NII 国立情報学研究所

## 学術情報基盤

### オープンフォーラム2016

2016年  
5/25(水) ▶ 27(金)

会場 学術総合センター 一橋講堂・特別会議室ほか  
(千代田区一ツ橋)

21st Century Academic Information Infrastructure for  
Advancing Open Science

共に考え共に創る学術情報基盤を—



Day1 5月25日(水) SINET5 開通式	
13:50	8K 映像上映 ※上映時は会場内が暗くなりますのでお早目にご着席くださいますようお願い申し上げます。
14:00	開会挨拶 喜連川 優 (国立情報学研究所長) 来賓挨拶 富岡 勉 (文部科学副大臣)
14:11	式典
14:20	来賓挨拶 里見 進 (一般社団法人国立大学協会 会長・東北大学総長) 西尾 章治郎 (文部科学省学術情報委員会主査・大阪大学総長) 大西 隆 (日本学術会議会長・豊橋技術科学大学長)
14:35	感謝状贈呈・来賓挨拶 山村 雅之 (東日本電信電話株式会社 代表取締役社長) 勝 栄二郎 (株式会社インターネットイニシアティブ 代表取締役社長) 庄司 哲也 (NTT コミュニケーションズ株式会社 代表取締役社長) 小野寺 正 (KDDI 株式会社 取締役会長) 宮内 謙 (ソフトバンク株式会社 代表取締役社長兼 CEO)
14:45	休憩
15:05	キーノート 金子 敏明 (高エネルギー加速器研究機構 計算科学センター長) Steve Cotter (CEO, GÉANT) Robert Vietzke (Vice President of Network Services, Internet2) Vincent Quah (アジア・パシフィック学術研究領域統括本部長 Amazon Web Services) 樋口 泰行 (日本マイクロソフト株式会社 代表執行役会長) ※同時通訳あり
16:35	閉会挨拶

# SINET5 開通式に あたって

喜連川 優  
(国立情報学研究所長)



国立情報学研究所(NII)は日本で唯一の情報学の学術総合研究所として、長期的な視点に立つ基礎研究から社会課題の解決を目指した実践的研究を推進しています。同時に、大学共同利用機関として、学術コミュニティ全体の研究・教育活動に必須となる最先端の学術情報基盤や学術コンテンツ、及び、サービスの提供といった事業を展開しています。

研究と事業を両輪として活動に取り組むNIIにとって、今年度は大きな節目の年となりました。平成28年4月から、全国の大学や研究所を結んでいる「学術情報ネットワーク(Science Information Network: SINET)」を「SINET5」へと移行し、100Gbps(ギガビット毎秒)のネットワークとして全国および日米間への展開を開始しました。

日本の学術基盤を支えるネットワークとして平成4年にスタートしたSINETは、平成19年に運用を始めたSINET3で世界に先駆けて通信速度を40Gbpsに引き上げ、平成23年に移行したSINET4では信頼性を高めて、同年の東日本大震災でもネットワークの堅牢性を証明しました。しかし、その間、欧米では学術ネットワークの100Gbps化が広く進み、色褪せていました。それだけに、今回、日本国内の都道府県すべてを100Gbpsでつなぎ、世界的にみてパワフルなネットワークを構築出来たことは日本の学術コミュニティにとって極めて意義深いと言えます。

ビッグデータという言葉が多用される今日において、膨大なデータを軽やかにやり取り可能な環境は先端を突き進むサイエンスに不可欠です。大量の実験データを扱い解析には膨大なコンピュータ資源が求められるビッグサイエンスでは、国境や地域を超えてデータをやり取りする国際連携が主流になっています。

SINET5移行に向けては、一般社団法人 国立大学協会、一般社団法人 公立大学協会、日本私立大学団体連合会の三者から強いご支持、ご賛同を頂戴し、加えて日本学術会議からもご提言を賜りました。本年度からのSINETの100Gbps化実現は多くの方々からいただいたご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

SINET5への移行は、大学のクラウド化にも大きく資することになります。クラウド化に伴ってオフサイトへのトラフィックが急増しますが、それを支えるのが100GbpsになったSINET5です。クラウド化による大学の計算機資源の集約は大きなコスト削減に結び付く可能性があるとともに、その削減はオープンサイエンスを加速する流れにも寄与することが期待されています。8Kを利用した医療における教材配信など新しい学術利用が期待されます。

このような新しい学術基盤としてのクラウド化を推進するため、NIIでは導入支援の取り組みを始めました。昨年度立ち上げた「学認クラウド」で大学や研究機関のニーズとクラウドサービスのマッチングをしています。学認クラウドは今後、大学や研究機関とクラウドをつなぐゲートウェイとしたいと考えています。

NIIは平成27年度に新たな研究施設として「クラウド基盤研究開発センター」を設置しました。米国では、クラウド資源をクラウドベンダーから譲り受けるだけではなくクラウドそのものの研究を大学で行うプロジェクトが始まっています。クラウド研究も新たなステージに入ったと言えます。NIIにおいても、一味も二味も違う次世代クラウド研究を推進したいと考えています。

また、今年度からは「サイバーセキュリティ研究開発センター」も設けました。学術ネットワークの安全はNIIが守るという強い使命感のもと、大学・研究機関にサイバーセキュリティに関する技術サポートや情報を提供してまいります。将来的にはセキュリティ人材の育成基盤にも取り組んでいきたいと考えております。

SINET5移行を契機に、単なるネットワーク接続というレベルを超え、様々なサービスを実現するにあたり、多様な学術機関と「共考共創」(一緒に考え、皆で創る)の気持ちで一層努力していきます。

URL <http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2016/>

Twitter <https://twitter.com/jouhouken> オープンフォーラム ハッシュタグ #SINET5

お問合せ [openforum@nii.ac.jp](mailto:openforum@nii.ac.jp) 国立情報学研究所 学術基盤課 フォーラム担当